



3012



114  
A2371



大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

米國

エラスマス・ロイ・ビゲロー氏著  
エラスマス・ロイ・ビゲロー

井上 勤 譯

第一章

海關稅

夫レ海關稅ナル者ハ凡ソ互市通商ノ營ムノ國  
トシテ課收セサルナク其由テ來レテ所年代邈ト  
シテ攷フ可ラス抑收稅ノ方法タルナク總万狀ア  
リト雖モ彼ノ内國稅中財產及歲入ニ稅ヲ課シ  
人々カ私產ノ内部ヲ驗核シ或ハ工業高事ニ干  
渉シテ之カ妨碍ヲナシ人ヲレテ頗ル不快ナラ  
シムルカ如キノ憂ナク而シテ其最モ容易ニ課  
收シ得ヘキモノ豈關稅ノ右ニ出ルモノアラン

ヤ且関税ハ其之ヲ課スル所ノ品物皆消費ニ充  
ツル所ノモノニシテ消費者之ヲ購求スルニ  
當リ該税ハ己ニ品物ノ估價中ニ含蓄シ間接ニ  
消費者ヨリ之カ関税ヲ拂フノ道理ナリト雖モ  
人皆直接ニ之ヲ拂フニアラサルヲ以テ其估價  
中ニ含有スルヲ悟ラサルモノ以テ皆是ナリ  
ソ関税ノ報告ハ商務上ニ於テ裨益スル所  
ラス其税ヲ課收スルニ當リ其手數甚々些少ニ  
シテ費用モ亦隨テ多カラストス  
英國ハ從來國債鉅萬國費夥多ナルヲ以テ其課  
税ニ得ヘキ道アルモノハ一トシテ之ヲ課收セ  
サルナシ然ルニ其收税中税額ノ多キハ海  
関課税ヲ以テ之カ最ト為ス  
附録第七十四号ヲ參觀セヨ英國

中著名ナル自由貿易主唱者「マカロク」氏ハ英國  
海関收税ノ鉅額ヲ贊賞シテ曰些少ノ勞令僅少  
ノ時間ヲ以テ斯ノ如キ鉅萬ノ税ヲ課收シ得ル  
ハ我英國ノ外未タ嘗テ之ヲ聞カス且收税ノ方  
法中ニ於テ其最モ便捷ナル者ヲ繹ルニ海関收  
税ノ外断シテ其良法アルヲ視スト我合衆聯邦  
ニ於テモ國費ノ鉅額多クハ海関收税ノ法ヲ以  
テ容易ニ之ヲ充備スルコトヲ得タリ附録第六十一号  
参考此ニ由テ之ヲ觀レハ右ニ陳說セル貿易隆  
盛ナル英米兩大國ノ實驗ハ真ニ確乎不拔ノ者  
ニシテ他ノ互市通商ヲ為スノ邦國モ亦焉ソ此  
ニ頼ラサルヲ得ンヤ故ニ今若シ國家政畧中ニ  
一定普通ノ畧アリト仮定セハ此海関收税法

ノ如キハ即ち其中ニ就テ之カ首タル者ト謂フ  
ヘシ

## 第二章

### 保護税及自由貿易

夫レ海關收税ノ度ヲ論スルヤ難矣上ハ國家ノ  
財政ヨリ下ハ耕作製造内外ノ貿易ニ至ルマテ  
悉ク包括シテ其範圍中ニ在ラサレハナレ是レ  
以テ其論旨頗ル煩冗交錯ナルモ尋常此論題中  
ニ就テ陳論スル所ノ要領ヲ索ムレハ只僅ニ收  
税方法自由貿易保護税ノ三項ニ外ナラス而シ  
テ吾人カ通常此ノ自由貿易及ヒ保護税ナル兩  
語ニ向テ下ス所ノ見解ヲ見ルニ吾人勦コレハ  
或ハ偏ニ海關收税ヲ以テ保護主義トナレ或ハ

唯重税ヲ抑制スルヲ以テ自由貿易主義トナレ  
此兩語ニ付テハ思想各異ニ人多クハ未レ其正  
確ナル意味ヲ認ムルヲ得サル者亦尠シトセス  
故ニ今右ノ兩語中ニ含有セル所ノ真意ヲ解セ  
ント欲セハ應ニ文字ノ外面ニ發表セサル所ノ  
深意ヲ精討セサルヘカラス是ヲ以テ余ハ兩語  
ノ真意ヲ解釋スルニ有限無限ノ兩様ヲ以テセ  
ントス即チ左ノ如シ

貿易上些少ノ制限法ナク又全ク海關税ヲ徵  
收セサルモノ之ヲ無限自由貿易ト謂フ  
偏ニ歳入ノ一助トナスノ目的ヲ以テ内國產  
ノ品物ト相競市スル物品ヲ除キ他ノ物品ニ  
課税スルモノ之ヲ有限自由貿易ト謂フ

内國産ト外國産トノ同物品相競市スルニ當  
リ内國産ヲシテ其價格ヲ内國ノ市場ニ騰上  
セシメ以テ外國産ヲ拒絶セント欲スルモノ  
之ヲ無限保護ト謂フ無限保護ナル者ハ或ハ  
ノ目的ニ出ルアリ傍ラ輸入ノ一助トナス  
或ハ否サルアリ  
内國製産品ノ價格ヲ低下シテ外國競市者ニ  
對シ内國製造者ヲ保護セシムル欲シ製造ニ用  
ユル素材ノ如キハ其課税ヲ廢シ又通國消費  
ノ物品ハ人民ノ生計費及ヒ傭銀ノ割合ト其  
相関涉セル状態ニ應シ其税ヲ増減スルモノ  
之ヲ有限保護ト謂フ  
余自由保護ノ兩語ニ就テ有限無限ノ兩意ヲ附  
着シ来ルハ已ニ右ニ陳說セルカ如シ讀者余カ

後章ノ論旨ヲ判明會得セント欲セハ宜ク右ノ  
四項ヲ熟讀シテ之ヲ腦底ニ存スヘシ  
英國関稅方畧

彼ノ英國ハ自國ノ面積僅ニ拾貳万九百拾貳  
方里ニシテ合衆聯邦中其最大ナルモノハ面積  
或ハ英國ニ優ルモノナキニアラス附録第百四  
百四十七号然トモ大英邦主ノ狭小ナル貿易ヲ  
ヲ參觀セヨ  
營ムノ浩大ナルハ他邦ノ遠ク及ハサルモノア  
リ彼ノ千八百六十年輸出入ノ元價ヲ見ルニ拾  
八億八千五百五拾九万六千四百八拾弗又同年中  
金銀貨及ヒ金銀貨幣地金ノ輸出入高貳億四千  
貳百五拾六万四千八百貳拾布ニシテ其合計貳  
拾壹億貳千四百拾六万三千三百弗ノ巨額ニス  
附録

大  
省

第三十六卷 三十七、三十八号ヲ参觀セヨ  
是レ英國一年間外國貿易ノ高ナリ今眼ヲ轉シテ我米國貿易上ノ實況ヲ察スルニ吾人米國ノ民庶ハ自國貿易ノ隆盛ナルニ誇ルモ之ヲ彼ノ英國ニ比照スルニ其高僅ニ彼レカ三分ノ一ニ過ルノミ  
英國製造品年々ノ輸出高ヲ檢スルニ其高六億五千万弗ニシテ  
附録第三十六、三十七、三十八号ヲ参觀セヨ  
工業貿易ニ託セル英國人民カ其流汗勞動ニ報フヘキ利益ヲ專握スルノ鴻大ナル實ニ驚歎ニ堪エサルナリ今英國人民カ製造ノ業ニ於テ遠ク他邦ニ超越スル所ノ源頭ニ遡テ之ヲ探討スルニ從來英國ハ他邦ニ優リタル地産トシテナラス命ヲ託スル瞬時不可缺ノ食品ノ如キ身

ニ衣スル日用須要ナル棉花羊毛ノ如キ其他製造ニ用ル素材ノ類多クハ之ヲ他邦ニ仰、サレヘカラス此ニ由テ之ヲ觀レハ該國製造貿易ノ隆盛ナルモノハ國ニ天帝特賜ノ品物アルニアラス一ハ以テ人民カ特殊ノ耐忍、練熟ニ歸シ一ハ以テ鉄礦、炭礦ノ多キニ由リ一ハ以テ海水ノ其國ヲ環リ内外ノ運輸ヲシテ便ナラシムルノ致ス所ト謂フヘシ然トモ深ク其淵源ヲ探レハ政府ノ幫助ニ頼ルモノ十ノ七八ニシテ人民縱ヒ何等ノ天授能力工藝練熟アルモ邦國縱ヒ位置、氣候、土質皆其宜ヲ得ルモ亦安ソ能ク為サシ工業貿易ノ隆盛ハ偏ニ政府ノ措置何如ニ因由スルモノナレハ地球上未タ嘗テ朝令暮改ノ政

府ノ下ニ工業隆盛貿易熾昌ナルノ國アツサル  
ナリ人民若シ輕率ナル政府ノ下ニ立テ朝令暮  
改ノ為メニ屢産業ノ顛覆ヲ蒙ルトキハ人誰レ  
カ其技藝ヲ練熟シテ以テ工業ヲ興シ其私財ヲ  
傾ケテ而シテ商業ヲ營ムモノアラシヤ故ニ改  
府ノ措置確乎不拔ニシテ人民之ヲ信スルニ非  
サレハ製造ノ業此ニ興起セス通商ノ変此ニ盛  
昌ナラス彼ノ英國政府ノ如キ其人民ヲ撫育ス  
ルノ深キ其産業ヲ獎勵スルノ厚キ人民悉ク之  
ヲ信シテ偏ニ身ヲ政府ニ附託シ平時トナク戰  
日トナク泰然トシテ動カス安然トシテ其業ヲ  
營ムヲ得タリ今時大英製造ノ業非常ノ盛大ニ  
至リ地球上此ト相頡頏スルノ邦ナキ所以ノモ

ノハ俊傑輩出シテ要路ニ當リ百年間相繼テ專  
ラ之ヲ保護獎勵スルノ致ス所ニアラサルハナ  
シ然ト雖モ近年政府一タヒ政畧ノ方向ヲ轉シ  
テヨリ全ク保護ノ主義ヲ棄擲シ自ラ新政畧ノ  
好結果ヲ賞賛シテ曰英國ハ自由貿易ノ首魁ナ  
リ人若シ自由貿易ノ不利ヲ説カハ之ヲ一撃ノ  
下ニ説破スヘシト此ニ保護自心ノ兩主義ニ就  
テ深ク其實蹟ヲ鑑ムルニ彼ノ英國ノ如キ保護  
主義政畧ノ時ニ當リ製造ノ業貿易ノ隻兩ナカ  
ラ旺盛ナラサルニ非スト雖モ之ヲ自由貿易主  
義ナル新政畧ニ比スレハ其功遠ク之ニ及ハサ  
ルモノアリ然トモ亦我カ米國ニ就テ之ヲ觀ル  
ニ人皆自由貿易主義ヲ以テ無論ノ妄責トナシ

一人ノ之ヲ顧ミルナシ其英采思想ノ異ナル者  
ニ天壤ノミナラス眩眼芒昧五里霧中ニ在ルカ  
如ク人ヲシテ真理ノ在ル所ヲ諦視スル能ハサ  
ラシム故ニ余今自由保護兩主義ノ切力ニ就キ  
之ヲ政府ノ記録ニ考ヘ或ハ之ヲ英國人民カ製  
造及ヒ貿易上ニ於テ經驗セル所ノ實跡ニ鑑ミ  
以テ之カ真理ノ存スル所ヲ發路セントス  
抑英國政府ノ自由貿易主義ヲ採ルヤ年未タ久  
シカラス彼ノ著名ナル經濟家「アダム・スミス」氏  
カ頓ニ慧眼ヲ開テ自由貿易主義ヲ唱ヘシヨリ  
僅ニ此ニ五十年ナリ而シテ英國政府ノ自由主  
義ヲ法律上ニ實施セルハ亦迫カニ「スミス」氏カ  
談主義唱起ノ後ニ出テ八百二十年ニ當リ「ハ

リング」氏カ下議院ニ於テ自由主義ヲ主張セシ  
ヨリ諸士ノ之ヲ賛成スルモノ日ニ多ク月ニ昌  
ナリト雖モ世上猶反對論者ノ之ヲ駁撃スルモ  
ノ必カラス千八百二十四年ニ於テ「ハスキソン」  
氏ハ自由主義駁撃者カ左右前後喧囂ヲシニ管  
セズ自ラ主張シテ竟ニ絹糸製造ニ課シタル苛  
稅ヲ從價百分ノ三十ニ減省シ十八百二十五年  
又同氏ノ主張ニ因テ稅目ヲ改正シ亦大ニ其餘  
款省畧スル所アリ此舉一トシテ自由主義ニ發  
源セラルナシト雖モ然トモ固ヨリ未タ其完全  
ヲ得タルモノト謂フヘカラス降テ千八百四十  
年ノ夏ニ至リ「ジョウゼフ・ヒューム」氏カ發議ニ  
由テ遂ニ委員ヲ定メ輸入品ニ課シタル幾種ノ



課税ヲ査閲セシメ之ヲ下議院ニ報告セリ今其  
 報告書中ニ就キ税目ノ數條ヲ摘テ以テ當時英  
 國税目ノ一斑ヲ示サント欲ス讀者之ヲ米國ノ  
 税目ニ對照セヨ英國税目ノ簡潔ナル我米國ノ  
 繁冗錯雜ナル其相去ル啻ニ霄壤ノミナラス米  
 國ノ税目ヲ觀ルニ輸入品ニ課シタル税ハ一  
 千百五十種ニ下ラス

拔萃税目

磁器及陶器	從價百分ノ十五乃至二十
革製品	全百分ノ二十乃至三十
真鍮及銅器	全百分ノ二十五乃至三十
棉製品	全百分ノ十乃至二十
亞麻製品	全百分ノ二十乃至四十

絹製品 全百分ノ三十  
 皮及毛皮製品 全百分ノ七十五  
 穀類 全百分ノ七乃至五十  
但シ千八百三十五年ヨリ四十年迄價ノ高低ニ從テ税  
 條鐵 每噸 七弗半  
 千八百四十一年ニ至ルマテ英國ニ於テ未タ十  
 分ナル自由貿易主義ヲ實施セサルハ右ノ拔萃  
 税目ニ照シテ昭明ナリ此時ニ當テヤ英國百工  
 ノ業既ニ隆盛ナラサルニアラス貿易通商ノ更  
 盛大ナラサルニアラス然ハ則百工隆盛貿易盛  
 大ナルハ是ヒ悉ク保護政畧ノ力ニシテ若何ソ  
 之ヲ他ノ原因ニ歸スルヲ得ンヤ同年ノ秋ニ於  
 テ宰相「ロルド、ノルボル」氏ハ貿易上ニ非常ノ  
 改良ヲ施サント欲シ下院ニ於テ其方略ヲ痛論

大 省

セシニ院中之ヲ非議駁撃スルモノ衆ク舌戰百  
合口鎡舌鋒悉ク挫折シテ敗衄ヲ取リ遂ニ其職  
ヲ退クニ至レリ「サー、ロバート、ピール」氏乃チ「  
ルポーン」氏ニ代テ其位ニ昇レリ氏ハ生来旧守  
政治黨中ノ一人ナリト雖モ持論正確ニシテ其  
才能遠ク前宰相ニ優ルモノアリ千八百四十  
二年氏カ發議ニ由リ税則頗ル改良理整スル所  
リ此税則改正ノ方畧タルヤ曩ノ「ロルド、ジ  
ョー、ルツセル」バーリンク「ラボウチユール」三氏カ  
發議セル所ノ者ト大同小異ニシテ世人皆此税  
則改正ヲ以テ貿易ノ面目ヲ一新セル者ト思想  
スルモ深ク其主義ノ存スル所ヲ察シ氏々腦裏  
ニ入テ之ヲ考フルニ備ニ自由貿易主義ニノミ

依ルニ「ラサル」モノ、如シ

「サー、ロバート、ピール」氏カ税則改正ノ演説ニ  
曰今ヤ我輩カ税則上ニ於テ故定理整セシト  
欲スルモノハ單ニ税則ノ繁冗ヲ省除スルノ  
意旨ニシテ乃チ現行ノ税則ナル者ハ或ハ理  
ニ於テ課收スヘカラサルモノニ課スル等條  
理明確ナラス豈一日ノ之ヲ怠忽ニ付スルヲ  
得ンヤ是レ我輩カ公道ノ上ニ立テ或ハ之ヲ  
實地ニ鑑ミ或ハ之ヲ條理ニ察シ關稅收額ノ  
何如ヲ顧ミス將ニ大ニ理整スル所アラント  
スル所以ナリ其最トスル所ハ外國品ノ輸入  
ヲ禁セラレタル者ハ總テ之ヲ解放シ又外國  
產物品ニ課シタル苛稅ヲ減殺シ以テ内國產

ト適ニ相競市スルヲ得セシメントスルニ在  
リ然ト雖モ國家ノ盛衰ニ関セス人ノ利害  
ヲ顧ミス悉ク之ヲ改正セントスルノ意思ニ  
アラス我カ改正ノ要領ヲ約言スレハ如今苛  
税ヲ課シタルモノモ或ハ特ニ止ノ難キノ変  
情アルモノハ旧ニ仍テ暫ク之ヲ存シ輸入漆  
制品モ或ハ殊ニ内國勸工ニ害アルモノ等ハ  
之カ禁ヲ解クヘカラス夫ノ内國製造品ノ種  
料トナルヘキ<sup>原料</sup>素材ノ如キハ概テ之カ課税  
大減シテ恰モ無税ト均シカラレノ又内國製  
造品ノ種料トナルヘキ素材ト殆ト同一輸  
入スル半製品ノ如キハ之カ重税ノ低減シ以  
テ適當ノ課税トナシ完全ノ製造品ニ在テハ

或ハ之カ輸出入ノ禁ヲ解キ或ハ輸入品ニ課  
シタル苛税ヲ廢シ之ヲレテ内國產ト相競市  
スルヲ得セシメント欲スルニ在ルナリ  
又千八百四十二年「ムラツド」スト「ン」氏ハ「サー」  
ロベルト、ピール氏ト其説ヲ同シ氏モ亦貿易上  
ニ於テ大ニ改定理整スル所アラントス其説ニ  
曰第一輸入禁制品ヲ解放シ第二製造品ノ課税  
ヲ減シ且一般保護税ハ平均従價百分ノ二十ニ  
定メ第三一部分製作ノエテ經タル物品ハ従價  
百分ノ十ヨリ多カラサル課税トナシ第四製造  
ニ用ユル材料ハ之ヲ従價百分ノ五ヨリ越ヘサ  
ル課税トナスヘシト前ニ陳説セル所ハ諾氏カ  
税則改正素志ノ如キハ恰モ公明正大ニシテ其

説ク所内外ノ製品ヲ問ハス均ク之ヲ貿易ノ自由ヲ與ヘシト欲スルニ似タリ而シテ彼ノ千八百四十二年ノ改定税則ヲ閱スルニ其課税ノ如キ大ニ之ヲ減殺シ其全体ヲ理整スル所頗ル鮮少ナラスト雖モ然トモ其税則實施上ニ就テ深ク之ヲ察スレハ此税則ノ功タル猶偏ニ其内國ヲ利スルナキニアラス此ニ英國市場ノ實況ヲ觀ルニ從來英國ハ其人民カ他邦ニ向テ自負スル所ノ地球上製造第一ノ邦國ナレハ其製造品ヲ市上ニ鬻クヤ持ニ賤價ニシテ他邦人民カ之ト相競市スル能ハサルモノアリ故ニ此更情ヨリ之ヲ推ストキハ彼ノ從價百分ノ二十ナル新定保護税ノ如キモ頗ル之カ保護ノ能力ヲ逞ス

ルナキニアラス而シテ斯ク如ク他邦ノ製造者ヲ妨害スル所ノ税則乃ルニ關セテ内國製造品ノ輸出スルモノ當時頗ル許多ニシテ其總額毎歲二億五千万弗トス附録參考七〇彼ノ千八百四十五年及七十四年ノ税則改正ノ如キハ千八百四十二年ノ改定税則殆ニ上其用途ノ同ニ素材若干種ノ如キハ之ヲ無税トシテ其他ノ素材ハ之ヲ課税ヲ減殺即チ從價税百分六ノ率ニ綿ト如キハ素材廢税中ノ第一ニ位ニ出又ニ製造品ノ税額ヲ減殺シ絹製造品ノ如キハ之ヲ從價百分十五トナシ棉毛麻ノ織物ニシテ完全ナル製品トナリタル者並ニ其一部分ノ製作ノエヲ經テ未タ完全ナラサル者共ニ從價百分

ノ十トシ棉毛麻ノ織タル係ノ反物ハ無税ト大  
仁且此改税ニ付食品ノ類モ夫ニ其税減下シ  
就中砂糖及ヒ穀類英國ニ於テハ「コル」ナル語  
ハ穀類ニ指スハ其最トス  
カ普通ノ意味ヲ言ハスナリ以テ其最トス  
特ニ砂糖ハ千八百五十一年七月五日以來其課  
税ヲ減スルコト甚タ多ク其英國屬地産ニ係ル  
モノハ之カ特税屬地産物保護ノ為ニテ廢シ  
其產地ノ何処タルヲ問ハス之カ課税ノ割合ヲ  
シテ均シカラレタリ  
千八百四十九年二月一日以降彼ノ英國立法上  
ニ於テ古今未曾有ノ大紛議ヲ發起シタル穀例  
ヲ廢シ穀類ノ課税ヲ定メテ一ノバトタニ付  
一噸ノ四分ノ一ニシテ一五ポンドトシタリ而シ

テ現行穀類ノ定税ハ今猶之ニ從ハズハ貿易上  
茲ニ「カ」ト曰バトトビ由此氏カ逝去後貿易上  
ノ變尚幾層ノ改良ヲ致シタルハ特ニ「カ」ト  
ストラノ氏ノカミレテ彼ノ千八百五十三年及  
七十九年ノ税則改正人如キ皆其注目スル處  
專ラ自由貿易主義トシ今千八百五十三年税則  
改正ノ時ニ際シ同氏カ演説セル所ノ大略ヲ此  
ニ華摘シテ以テ其主義ノ存スル所ヲ示サント  
ス  
「カ」ト曰ストラノ氏曰今現行税則ノ体面上  
ニ向テ其状態ヲ察スルニ税則上ニ於テ一新  
改良ヲ施サル可ラサルヲ條件頗多シ故  
ニ其実況ヲ精討シテ之カ妨碍ナキモノハ左

ノ汎則ニ倣フテ以テ之ヲ理整セシトス  
第一一物品ニ課シタル税ヲリ其課税物品  
増殖補助ノ功ナキモノハ盡ク之ヲ税ヲ廢ス  
ヘシ然トモ若シ該課税直接ニ其課シタル物  
品ニ増殖ノ功ナキモ夫レニ税ヲ課シタルカ  
故ヲ以テ他ノ緊要ナル物品ノ為メニ若干ノ  
益アルモノハ之ヲ除ク  
第二豫メ歳入ノ何如ヲ算定シ其妨ナキモノ  
ハ之ヲ撰擇シテ製造品ノ課税ヲ廢スヘシ然  
トモ製品ノ殆ント完全ニ近クシテ未タ一層  
ノ工ヲ經サレハ全成物ト謂フニ至ラサルモ  
之ノ又尋常人ノ手ニ由テノニ製作者ヲシタル  
モノ以テ之ヲ除キ此ニ様品物ノ如キハ廢税ノ

條款ニ編入スヘカラスト雖モ必之ヲ課税ノ  
定額ヲ減省セサルヲ得ズ而シテ此等ノ課税  
ハ從價百分ノ十ヨリ多クテサレコトヲ希望  
ス  
右ニ從價百分ノ十ヨリ多クテハ其ノ  
トヲ陳述シタル由リ今別ニ辨解セサレ  
力ヲサレタル絹糸ノ課税ハ此課税ハ現今從  
價百分ノ十五ニテ更ニ之ヲ減額ヲ議スル  
能ハサルモノヲ抑絹糸ノ課税タルヤ之ヲ  
増減ニ因テ政府ノ歳入ニ大ナル影響ヲ及ホ  
スモノナレハ之ヲ一思テ考クテニ議スヘカ  
ラズ此課税ヨリ工入ニ大關係ヲ喪ズ  
以テ必之ヲ下議院議員ノ百回熟議ニ付セサ

ルヘカラス且従價稅ヲ廢シテ之ニ代ルニ定額稅ヲ以テシ又千八百四十年ニ於テ增課セラレタル百分ノ五稅ハ其歲入額ニ須要ナルモノヲ除キ之ヲ廢スヘシ何トナレハ此增稅ニ因テ貿易上許多ノ妨害ヲ生スレハナリ而シテ屬地產ノ物品ニ課シタル特稅ヲ廢シ外國產ノ物品ヲシテ之ト相競市スルノ道ヲ開クヘシ然トモ屬地產ノ物品ニ課シタル特稅ヲ廢スルモ外國產ノ物品猶之ト平均ノ價ニ至ラスレテ相競市スル能ハサルノ場合ニ於テ屬地產ノ物品ニ增加稅ヲ課スルヲ要セズトス彼ノ生命保存ニ須要ナラザルモ唯人民ヲ快樂ニシテ飲食スル所ノ外國製食品ノ

如キニ余必其課稅ヲ減下スル所欲ス至ニ茲ニ千八百五十三年以降英國稅則上改定理整ノ實況ヲ觀察スルニ其主義ノ存スル所ハ固ヨリ自由貿易ノ一途ニ在リ虽モ其實跡ヲ見ルニ大ニ之ニ反スルモノナキニテ是ヲ以テ此稅則改正タルヤ其實況ニ就テ之ヲ評スルハ唯稅則上瑣末ノ條款ヲ訂正理革シ且公ラツトストラシ氏カ目下急ニ改革ヲ要スル者ト認メタルモノヲ改正シタル人ト謂フヘシ故ニ之ヲ以テ稅則上真正大改革ト稱スルニ足ラス當時ノ稅則改正案條目ヲ通覽シテ以テ之ノ實際ノ情態ヲ鑑ミ尚左ノ比較表ヲ着閱スルハ其稅則改正ノ以テ英國製造及ヒ貿易上ニ於テ其

影響スルノ何如ヲ認メ得ルニ足ルヘシ  
今第一表ニ就テ千八百三十八年ヨリ千八百五  
十九年ニ至ル二十二年間英國海關收税ノ景況  
ヲ見ルニ收税總額百分ノ九十八彼ノ表中ニ列  
記セルカ如ク之ヲ拾六種ノ物品ニ課收シ得タ  
ルモノニシテ其物品生産ノ多寡ニ應シ之カ列  
序ヲ定ムレハ即チ砂糖ヲ第一トシ茶ヲ第二ト  
シ之ニ次クニ烟草、燒酒、葡萄酒、木材、珙珠、穀類、絹  
ヲ以テシ又之ニ次クニ乾葡萄、菓類、糖蜜、牛酪、獸  
脂、乾酪、種子ヲ以テシ又收税總額中百分ノ九  
有税雜品ニ課收ニ係ルモノトス右ニ陳説セル  
海關收税ノ景況ハ第一表則大改正ノ前四箇年  
ヨリ降ヲ終リ又税則大改正後六箇年ニ至ルノ

狀態ナリ此二十二年間收税ノ景況ヲ表中ニ通  
覽シ表中ノ首尾ニ就キ一年間ノ合計ニ項又此  
照スレハ僅ニ一百万弗ニ近キノ差異ヲ見ル  
ミニシテ其一年間收税合計ノ如キハ毎歲殆  
ト均同ナリ此ニ由テ之ヲ觀レハ自由貿易主義  
政略ノ能カヲ貿易上ニ表ハスノ微弱ナルヲ知  
ルニ足ルヘシ又製造品進歩ノ景況ヲ見ルニ表  
中ニ列記セル拾六種品ノ中ニ就テ只絹糸其製  
造隆盛ヲ致シ之カ課收ニ係ル所ノ税額ヲ以テ  
千八百三十八年千八百五十九年ノ兩歲ヲ比較  
スルニ五十九年ニ於テ只八拾万弗以上ノ増額  
ヲ見ルノニ尚税則大改正前後累年貿易上ノ景  
況ヲ察シ收税額ノ多寡ヲ知ント欲セハ宜ニ附



録第百貳拾號ニ就テ之ヲ見ルヘシ即チ第一表  
 ハ本號附録中ノ華摘ニ係ルモノナリ而シテ余  
 ハ其附録ヲ通覽シ來リ收稅ノ總額上ニ就テ熟  
 思考ヲ下スニ一トシテ英國自由貿易方畧ノ貿  
 易上ニ於テ結成シ得タル所ノ羨菓ヲ發見スル  
 能ハサルナリ故ニ余ハ尚輸出中ニ於テ其最要  
 ナルモノヲ撮ミ自由保護ノ兩主義ヲ對照シ以  
 テ貿易上其互ニ影響スル所ノ何如ヲ示サント  
 ス茲ニ千八百四十五年ニ於テ女王陛下ノ敕命  
 ニ因テ編集セル貿易景況録ハ即チ千八百四十  
 二年稅則改正ノ輸入品ニ影響シタル實況ヲ詳  
 記セシモノニシテ今其輸入品ヲ抄録スルコト  
 左ノ如シ

第壹表

自由貿易主義ヲ以テ稅則大改正ノ前後英國海關稅總額ノ一年間平均比較

品名	千八百三十七年	千八百三十八年	千八百三十九年	千八百四十年	千八百四十一年	千八百四十二年	千八百四十三年	千八百四十四年	千八百四十五年
乳油	1,232,765	992,125	846,210	961,460	751,965	658,780	556,675	440,115	335,675
乳酪	596,270	497,210	520,515	577,910	446,535	398,315	340,115	284,440	235,675
咖啡	409,695	384,925	349,260	369,095	299,990	259,990	219,990	179,990	139,990
胡椒	381,457	688,430	467,440	291,155	234,360	166,355	108,355	50,355	1,355
麵粉類	98,013	114,355	137,135	131,245	154,335	173,535	192,735	211,935	231,135
乾葡萄酒	648,150	849,885	227,160	400,345	177,775	190,210	202,645	215,080	227,515
葡萄酒	1,111,800	1,089,995	1,329,590	1,397,100	1,464,610	1,532,120	1,600,630	1,668,140	1,736,650
啤酒	1,279,345	1,159,670	1,039,000	918,330	797,660	677,000	556,330	435,660	315,000
砂糖	2,433,385	2,402,160	2,370,935	2,339,710	2,308,485	2,277,260	2,246,035	2,214,810	2,183,585
糖蜜	1,008,275	1,275,565	1,542,855	1,810,145	2,077,435	2,344,725	2,612,015	2,879,305	3,146,595
獸脂	946,265	855,525	764,785	674,045	583,305	492,565	401,825	311,085	220,345
茶	1,809,540	447,655	2,332,245	2,816,335	3,300,425	3,784,515	4,268,605	4,752,695	5,236,785
木材	788,875	487,395	186,915	115,435	44,955	17,475	10,995	4,515	1,035
酒類	1,788,070	1,977,185	2,166,300	2,355,415	2,544,530	2,733,645	2,922,760	3,111,875	3,300,990
其他有稅雜品	1,254,271	848,900	490,810	133,330	11,350	1,110	1,110	1,110	1,110
合計	11,664,680	11,298,315	11,663,870	11,929,240	12,204,610	12,480,000	12,755,390	13,030,780	13,306,170
右十六品百分ノ割合	100	96.1	100	102.1	104.7	106.3	108.9	111.5	114.1
右有稅雜品百分ノ割合	100	71.2	100	71.6	100	71.6	100	71.6	100

製造ニ用ヘキ素材ノ一部分製作ノ工ヲ經タル品物。製造全成ノ物品。食料品。充分右四品ノ範圍中ニ屬スルモノト為スヘカラサル品物

貿易景況録ハ千八百四十二年稅則改正ノ前、後二年間ニ於テ右ニ列記シタル輸入品ヨリ英國ニ於テ課收シタル一年間平均ノ稅額ヲ詳記セシモノニシテ彼ノ第百拾九號附録、即チ之カ華摘ニ係ルモノナリ今更ニ此附録ヲ改革シテ茅貳表ヲ作り以テ彼ノ一年間平均ノ稅額ヲ示サントス。

茅貳表

自由保護ノ兩義ニ關涉シテ輸入品ノ種類ヲ區分シ其課收ニ係ル一年間稅總額比較

輸入品種類	千八百四十二年稅則改正前二年間平均稅額	千八百四十二年稅則改正後二年間平均稅額	千八百四十二年稅則改正前二年間稅總額	千八百四十二年稅則改正後二年間稅總額
製造ニ用エキ素材	一〇九七五〇〇	七〇七二〇〇	三九〇二一九	三九〇二一九
一部分製作ノ工ヲ經タル物品	五二五六一四五	三二五七四〇	一九九八七〇	一九九八七〇
製造全成ノ物品	三三九七八五〇	三三九七八五	二〇〇二二五	二〇〇二二五
食料品	九三三三八〇八五	一〇〇三八四二一〇	六〇九〇〇〇	六〇九〇〇〇
充分右四品ノ範圍中ニ屬スルモノトナル物品	一一一九九九〇	五二〇九五〇	六〇九〇〇〇	六〇九〇〇〇
合計	一一三、八七四、七〇	一一三、六〇四、三三〇	六五三、九一六、五	六五三、九一六、五

今第二表ニ就テ千八百四十年稅則大改正ノ成蹟ヲ觀ルニ製造用ノ素材等ニ在テハ其收稅額ヲ減殺シ食品ニ在テハ之ヲ増加シ且全成品課收ノ稅額ニ餘剩ヲ生セシモ甚タ此少ニシテ其總計僅ニ貳万零貳拾五弗ニ過キス素材ニ係ル收稅ノ減額ハ其高三百九拾万零千九拾五弗而シテ一部分製作ノ工ヲ經タル物品ニ係ル收稅ノ減額ハ其高百九拾九万八千七百零五

弗ナリ於此カ更ニ三大税則改正ニ付前ニ記載  
 セル品物五種ノ類別ニ倣テ千八百三十九年及  
 七千八百五十九年ノ輸入有税品ヲ區別シ第三  
 表ヲ作り乃チ三大税則改正ノ成績ヲ合供シ一  
 讀ノ下其何如ヲ瞭知スルニ便ナラシメント欲  
 ス讀者幸ニ刮目シテ第三表ヲ見ヨ該表ハ即チ  
 三大税則改正ノ功蹟ヲ測度スル所ノ尺度ナリ  
 今其要計中ニ就テ收税ノ景況ヲ觀察シ千八百  
 五十九年ノ收税額ヲ以テ之ヲ千八百三十九年  
 ニ比スルニ五十九年收税額ノ三十九年ニ超過  
 スルモノ壹千貳百九拾壹万七千八百七拾五  
 ノ巨額ヲ致セリ此増額ニ因テ其理ヲ推ストキ  
 ハ二十年間徒ニ無限自由貿易ノ名ヲ存スルモ

第三表

英國ニ於テ自由貿易及保護税ニ関涉シテ物品ヲ類別シ千八百三十九年及千八百五十九年ニ當リ輸入品ニ係ル收税總額比較  
 千八百三十九年一月  
 五百三十九年一月  
 千八百五十九年十二月  
 三百三十九年一月  
 千八百五十九年十二月  
 三百三十九年一月  
 千八百五十九年十二月

製造ニ用エキ素材	輸入	輸入	輸入
織料	二五八九四六〇	無	無
綿	八一八〇七五	全	無
毛	七八五六五	全	無
絹	三四一三五	全	無
亞麻	一五八六〇	全	無
麻	六四九一〇	全	無
藍根	一九四〇九〇	全	無
藍根	一九四〇九〇	全	無
呀喃燕	一〇一九〇	全	無
スマック	二五七五	全	無
漆木	二五七五	全	無
漆ノ用及系皮用樹皮	一〇四九九〇	全	無
木材	三三三四一二五	全	無
船用ノ漆兒瀝青松脂	九一八三四五	無	二二五〇、七九〇
マホガニ	四二二、九六〇	無	三二七、三二五
獸脂	二八三、五六〇	全	無
船用ノ漆兒瀝青松脂	二四二、九七〇	全	無
マホガニ	一四九、一八〇	全	無
粗毛	一一五、五九五	全	無
塞子	一一五、五九五	全	無
製造全成ノ品物	一一七八六〇	無	二七二〇、九
硝子	五〇一五	全	七四、八八五
紙	三五	全	一四、三〇〇
雙眼鏡	一四〇	全	一、七七〇
越飛斯及ク香氣物	三三七〇	全	六、九三五
青銅器	五六四三五	全	一、六六四〇
麥酒及ビール酒	九三三五	全	四、四八九〇
自鳴鐘	四七〇	全	八、三三五
時計	一〇〇	全	一、三五〇
杖端傘、日傘等	八七四五	全	一、三〇五
蠟燭	四四四〇	全	一、一五五
帽子及ク婦人ノ帽子	一三七、一六〇	全	四、七八一五
雜貨物類	三、一九五	全	三、六八七〇〇
樂器	三、一九五	全	六、一五四〇
精練油類及ク香氣ヲ含ミタルモノ	六、六二〇	全	五、七六七五
漆器	六、六二〇	全	一、〇九〇
小綠	六、六二〇	全	二、二八八五
雜品	二八、六二〇	全	五、七三〇、七五

亜麻仁及び亜麻子	九九六〇五	全		三三九六二六〇	三〇三二五七五
硫黄	八五二二五	全			
黒鉛	二四三六〇	全			
雑品	七〇七一三	全	二八〇		
合計	一〇、五一九、一一五		一、五二八、三九五		
一部分製作ノエラ経タル品物					
木材 (鋸キ又タハ割リタルモノ)	四、五〇四、六二五	弗	一、九八五、一一五		
橄欖油	二、二七〇、八〇	無税			
ブラチンシ (帽子等ヲ製スル爲メ橋藤組タルモノ)	一、四八五、三三〇	無税	七、一七八〇		
條鐵 (工作ヲ註サル)	一、四二九、七七〇	無税			
椀桐子油	八、五五一〇	全			
皮 (柔皮又ハ整理シタルモノ)	二、三六一、一五	全			
ゴムシニララク及ヒララクタイ	一、九五九、九	全			
銅青	一、九〇五、五	全			
毛糸花屑糸	七、一〇〇		一、五七〇		
紡キタル糸	一、九三二、六〇				
輸出花絹製造等 贈還税	一、二九二、五〇				
合計	四、六七一、一五		三、八六〇		
製造全成ノ品物	五、二二〇、七九五				
絹 (ホタ製製品ト成ラサルモノ)	一、一九五、八〇〇	弗	一、五三七、八〇〇		
毛 (全上)	一、五八四、六〇	無税			
亜麻 (全上)	七、八一、二五	全			
綿 (全上又ハ一部分製造ノエラ経タルモノ)	一、三七〇、五	全	二、七二七、五		
毛 (全上)	二、四〇、九		一九〇、四〇		
亜麻 (全上)	一、九七二、五		四、一三五		
鐵及ビ鋼鐵 (工作ヲ註タルモノ)	一、四六四、六〇		八〇、六五		
黄銅及ビ銅	一、八一、一〇		七、七八五		
磁器及ビ陶器	二、六一七、〇		一、八五二、五		
合計	一、四七七、〇				
合計	一、五八四、六〇				

油糧	三九〇、四〇	無税			
センナ (藥葉ノ名)	二、四四三、〇	全			
鴉毛	一、八四四、〇	全			
サルサパリラ (藥草)	一、七九〇、五	全			
獸骨	一、二八〇、九	全			
海綿	七、三〇〇	全			
雑品	六、三〇、八〇	全	三、八三七、〇		
合計	九、四七九、九		一、三九一、二〇		

砂糖	二、三二八、八二五	弗			
糖蜜	一、一八九、六〇〇				
煙草及ビ喫烟	一、七八〇、八六二、五				
茶	一、六八一、〇一七、五				
酒精、ラム酒	六、二二九、七八五				
酒	七、〇五五、三三五				
ブランデー	六、七六八、〇七〇				
其他ノ精酒	一、五三七、〇				
珈琲	三、四二五、四一〇				
乳油	一、二五八、三二五				
菓實	一、〇〇二、一〇〇				
覆盆子 (小キ乾葡萄子)	九、二二四、六〇				
穀	九、三三七、九				
乾酪	五、六九五、三五				
雑品	一、〇〇四、七三五				
合計	九、一五一、八七、五				
充分以上四品ノ範圍中ニ 属ス(カラサル品物)	五、四四九、〇	弗			
種子	一、三九九、〇				
甘草、越幾斯	四、六八二、五				
油ニ用ユル木実及ビ杏仁	三、九四七、五	無税			
新木	三、九四七、五				

全ク其實ヲ有スルナシ且有限自由貿易ニ就キ  
之ヲ全成品ニ係ル收税ニ視ルニ亦五十九年ノ  
三十九年ニ超過スル六拾三万六千三百九拾五  
弗ニシテ視テ其主義ノ功力ヲ顯シタル者ト為

輸入品ノ種類

製造ニ用ユヘキ素材	一、〇五一、九一一、五	弗			
一部分製作ノエラ経タル品物	五、二二〇、七九五				
製造全成ノ品物	二、三九六、二六〇				
充分右四品ノ範圍中ニ属ス(カラサル品物)	九、一五八、七九五				
合計	一、〇、六〇四、七六〇				

要  
計

千八百三十九年一月至千八百三十九年十二月平均	一、〇五一、九一一、五	弗			
千八百三十九年一月至千八百三十九年十二月平均	五、二二〇、七九五				
千八百三十九年一月至千八百三十九年十二月平均	二、三九六、二六〇				
千八百三十九年一月至千八百三十九年十二月平均	九、一五八、七九五				
千八百三十九年一月至千八百三十九年十二月平均	一、〇、六〇四、七六〇				

スヘキカ之ヲ其主義ノ却テ退歩セル者ト認ハ  
サルヲ得ス由此觀之自由主義ハ却テ保護主義  
トナリ三大税則改正ノ如キハ英國ノ製造者ニ  
各保護ノ切ヲ共ヘタリ然則其有限保護タル昭  
然觀ルヘシ彼ノ製造用ノ素材及ヒ一部分製作  
ノエヲ經タル物品用素材ト同ク製造ノ如キ大ニ  
其課税ヲ廢減シ英國政府ニ於テ該物品ニ係ル  
收税額ニ付其失フ所尙千貳百拾三万五千零貳  
拾弗ノ巨額ニシテ輸入品ニ自由ヲ共ヘ純然タ  
ル自由主義ニ似タリト雖モ其暗ニ内國製造者  
ヲ保護スルヤ實ニ厚シ誰カ其内國ニ得ル所ヲ  
以テ外國ニ失フ所ヲ償ヒ而シテ猶巨多ノ餘剩  
ヲ留ルアルヲ知ンヤ故ニ余ハ今海關收税上ニ

照シテ自由貿易主義ナル英國税則改正ノ結果  
ヲ評スル左ノ如シ

無限自由貿易二年間ニ其退歩スル 尙千貳百九拾壹万七千八百七拾五弗

有限自由貿易二年間ニ其退歩スル 六拾三万六千三百拾五弗

無限保護ハ一年間ニ其進歩スル 六拾三万六千三百拾五弗

有限保護ハ一年間ニ其進歩スル 尙千貳百拾三万五千〇貳拾弗

讀者右結果ノ評定ニ付其真意ノ在ル所ヲ識了  
シ得ント欲セハ應ニ該二十年間英國輸入品ニ  
於テ大約ニ倍半ヲ増加セルコトヲ腦底ニ留メ  
サル可カラズ彼ノ有限保護ニ関スル税額尙千  
貳百拾三万五千零貳拾弗ハ二十餘年以前即チ  
千八百三十九年ノ輸入品ニ係ル税額タリ若シ  
當時ノ有限保護政略ヲシテ猶方今ニ存在スル

アラシメハ談税額モ亦必ニ倍半ノ割合ヲ以テ  
増加スヘキ理ナリ以是有限保護政略ノ旧税法  
ニ因テ之ヲ推算スルニ目今英國製造者ハ素材  
ノ為ニ毎年三千万弗ノ税額ヲ納メ只棉花ノ為  
ニノミ八百萬弗ノ税額ヲ納メタルナルヘシ是  
レ英國製造者ヲ保護スルニ似テ決シテ然ルニ  
非ス方今素材ノ課税ヲ廢シ貿易ノ自由ヲ與ヘ  
タルカ如キハ却テ之ヲ保護スルノ厚キタルヲ  
察スヘキナリ近世勸商學社ニ養育セラレタル  
英國ノ政変家中ニ於テハ断乎トシテ一人ノ保  
護主義ヲ公唱スル者アルヲ見ス然トモ彼ノ「  
ラッド」ストレン氏ノ如キハ口ニ自由貿易主義ヲ  
稱道スルモ其心私ニ保護ノ却テ利アルヲ知レ

同氏カ演說中ノ一言以テ証明スルニ足レリ其  
言ニ曰今余カ素材ノ課税ヲ廢セントスルハ全  
ク保護主義ヲ滅却セント欲スルニアラズ請フ  
其意思ヲ誤認スルコト勿レト余モ亦已ニ其保  
護主義ヲ滅盡スルノ意思ニアラサレテ知ルナ  
リ讀者素材及ヒ一部分製作ノ工ヲ經タル物品  
ノ課税ヲ廢シタルハ固ヨリ英國製造者ノ為ニ  
至寶ノ特賜タリト雖モ三大税則改正ニ因テ暗  
ニ英國人民ニ與ヘタル有限保護ハ只此等ノ廢  
税ニノミ止マルモノト認ム可カラズ彼ノ食品  
輸入税改正ノ如キ其功カ至大ニシテ英國人民  
ノ生計費用ヲ減省シ常ニ傭銀ヲ低下ノ價格ニ  
止ラシメ以テ税則改正ノ本旨ニ符合シ遂ニ豫

歳省

定ノ結果ニ達スルヲ得タリ千八百四十年ニ當  
リ英國ハ財政上大ニ弊害ヲ生シ或ハ外國貿易  
ノ進歩ヲ妨クルアリ或ハ穀類ノ價格ヲ騰貴シ  
氣候不順ノ災害ヲ增大ナラシムルアリ或ハ輸  
入物品ノ供給少クシテ其價格ヲ騰貴シ遂ニ備  
銀ノ實價ヲ減下スルアリ此教者ハ其大變革ヲ  
要スルモノニシテ當時生計ノ費用ヲ低下シ工  
人傭役ノ人ヲシテ可成的他邦ニ適カサラシム  
ルノ方法ヲ施スハ目下ノ急務ナリ今ヤ内國製  
造ノ業日ニ衰廢シ通商ノ道月ニ委靡シ其勢穀  
例ヲ廢棄スルニアラサレハ以テ製造貿易ノ兩  
事ヲ興起ス可カラス故ニ麵包用穀類ノ課稅ヲ  
廢スルヲ製造貿易ヲ保護スルノ一大要點ナト

ヲ以テ各地所有者ノ翻然ナル論鋒ヲ犯シ竟キ  
其課稅ヲ廢止シタリ降テ千八百六十年ニ及ヒ  
大英ニ論入セル麵包用穀類ノ元價ハ總計壹億  
五千六百萬弗ノ巨額ヲ致シ穀例廢止ノ功カ穀  
類輸入上ニ發表スルノ浩大昭明ナル實ニ驚嘆  
ニ堪エカルナリ今仮ニ此時ニ於テ滑稅法スライディングスケールノ存  
在セルモノトナシ穀類ノ價ヲ廢稅前三年間平  
均ノ價ト定メ以テ麵包ノ稅額ヲ算スルトキハ  
其高三千百貳拾萬弗ノ多キニ至ル斯ノ英國政  
府ノ統計表ニ照シ稅則上ノ實況ニ付キ歷々論  
シ來レハ讀者必英國自由貿易主義ノ改正ハ却  
テ製造者ニ向テ鴻大ナル保護能力アルヲ知リ  
シタルナルヘシ

裁省

讀者「ビ」ル及「コ」ラスト「ラ」ニ「兩」氏「カ」實施セ  
ル稅則改正ニ付キ其性質及ビ吏情ヲ會得シ得  
ント欲セハ須ク當時英國稅則上ノ實況ヲ熟知  
セサルヘカラス抑當時英國稅則ノ繁冗錯雜ニ  
シテ禁制品ノ夥多ナル課稅ノ苛重ナル若シ速  
ニ之ヲ改革理整スルニ非レハ製造衰ヘ貿易微  
ニ勢救蕪スヘカラサルニ至シ夫英國ハ千戈屢  
動キ國帑空乏ナルヲ以テ將來ノ利害ヲ問ハス  
其課稅シ得ヘキモノハ咸ク之ニ重稅ヲ課シタ  
ルニ根柢セル者ニシテ斯ノ如キ弊害ニ陷ルハ  
固ヨリ其所ナリ是レ兩氏カ其弊害ヲ矯正シ稅  
則上大ニ改良ヲ致シ以テ自由貿易ノ門戸ヲ開  
サルヲ期サル所以ナリ兩氏カ稅則改正ニ付稅

則上繁冗ノ箇條ヲ減省シテ其面目ヲ一新シ改  
良スル所鮮少ナラサルカ如シト雖モ其實況ヲ  
細索精討スレハ一ノ自由貿易主義ト稱スルニ  
足ルノ功庸アルヲ見ス今自由貿易主義ナル稅  
則改正ノ成績何如ヲ察スルニ便ナラシメシカ  
為ニ第四表ヲ作テ之ヲ左ニ掲ク第四表ハ千八  
百五年ニ始メ千八百六十年ニ終ル其間各年ノ  
人口及ビ内國輸出ノ元價ヲ掲グ此五十六年ヲ  
十四ノ不同ナル部分ニ區分シ各時限間ノ平均  
人口ヨリ平均輸出ニ至ルマテヲ載セ其輸出元  
價ヲ各人ニ割附テ其平均數ヲ著シ平時ト戰時  
トニ就キ貿易盛衰ノ跡人口多寡ノ狀ヲ明ニシ  
以テ稅目改正ノ最緊要ナルモノヲ示シ且一區

大  
藏  
省



畫ヲ設テ千八百四十九年以、降カリ、フルニヤ、及  
 ビ、トリストラリヤ、金礦產出ノ金高ヲ揭ケ、千八  
 百五十四年以前ハ英國稅関ニ於テ輸入セル真  
 正ノ元價ヲ報告スルコトナシ、是以表中只輸出  
 ノミヲ載セテ輸入ヲ示リス、又人口ノ區畫中ニ  
 唯大不列顛ノ人口ノミヲ記シタルモノハ愛爾  
 蘭土人口ノ低減ヲ始ムル年即チ千八百四十七  
 年ノ凶歲以降官ニ人口ヲ查閱セシ正確ノモノ  
 ナケレハナリ、該表ノ末段ニ於テ人口ニ割附ケ  
 タル輸入高ノ割合ニ付キ四十餘年間ノ景況ヲ  
 見ルニ此間自由貿易主義ナル稅則ノ大改正ア  
 リテ貿易上多少ノ變動ヲ來スヘギ、理ナリト雖  
 モ然ト、一モ其変更アルヲ見ス、千八百五十年

第四表

外國貿易ニ関涉シテ英國自由貿易主義ナル方略ノ結果

年	大英ノ人口	英國内國產輸出ノ元價	各期限一年間平均結果
千八百零五年	一、二八二、〇〇〇	一八六、七、九八〇	輸出一、五三、九七五〇
千八百零六年	一、四一七、〇〇〇	七九八、七三七、九〇五	輸出一、八七、〇二、二五六、一六三
千八百零七年	一、六二八、〇〇〇	一八、九七、七二、一五	
千八百零八年	一、七九三、〇〇〇	一八、五三、一、九二五	
千八百零九年	一、九四二、〇〇〇	二、三〇、二四、八八、五	
千八百十年	二、一三〇、〇〇〇	二、三、〇〇、四、六三〇	
千八百十一年	二、四二四、一〇〇	一、五、四、二五、三、〇九〇	
千八百十二年	二、四〇〇、〇〇〇	一、九、六、六、七、二、六三〇	
千八百十三年 撤消火燼	二、五八四、〇〇〇		
千八百十四年	二、七九二、〇〇〇	二、一、七、二、三、六、八、六五	
千八百十五年	二、九七五、〇〇〇	二、四、八、二、六、六、二、二五	
千八百十六年	三、一五〇、〇〇〇	二、〇、一、六、四、四、七、〇〇	輸出一、三〇、九、九、七、五〇
千八百十七年	三、四一七、〇〇〇	二、〇、一、七、七、六、一、七五	輸出一、一、七、三、三、四、九、一、六五八
千八百十八年	三、六三二、〇〇〇	二、二、五、〇、〇、〇、五〇	

平時戰時及各稅則改正ノ年

「カリフォルニア」及「オーストラリア」金ノ産出

大英ノ人口

英國内國產輸出ノ元價

各期限一年間平均結果

輸出一

輸出入ノ割合



平時

一千八百五十八年	二千六六八七〇	五八三〇四四五	二千八七七八四一	六三八一〇五三三	二七七八九
一千八百五十九年	二二八六九一七四	六五二〇五七三			
一千八百六十年	二二一四七四七八	六七九二一四〇			

※カリフォルニアノ金礦発見ハ千八百四十八年八月ニシテ「ナース」トナリヤノ発見ハ千八百五十一年ニ在リ千八百五十六年「カリフォルニア」ヨリ産出セルモノ七千七百方布「ナース」トナリヤヨリ産出セルモノ七千〇八百五十方布ニテ其合計志徳四十七百〇八百五十方布ナリ

リ千八百四十八年ノ間ニ於テ輸入割附高ノ最大數ト最小數ヲ比較スルニ唯五布四拾志仙ノ差異アルノミ此ニ千八百四十二年「ロル」氏カ發議ノ稅則改正ニ先タツ四年間ニ於テ輸入元價ノ平均高ヲ見ルニ人口一人ノ割附高拾四布拾仙ニシテ又穀類廢止ノ翌年ナル千八百四十七年及ヒ千八百四十八年ニ於テハ其割附高拾三布八拾七仙トナリ少ク貿易退歩ノ状ヲ露シ千八百五十二年ニ終ハル四年間ニ於テハ其高拾七布貳拾六仙ニ上リ之ヲ保護稅法ノ高度ニ

至リシ年即チ千八百七十二年ニ終ハル四年間ニ比スルニ唯一人ニ付五拾六仙ノ差異アルヲ見ル千八百五十三年以降ハ英國ノ輸出俄然其數ヲ増加シ驟々其歩ヲ進ノ千八百六十年ノ三年平均高ヲ以テ之ヲ千八百四十八年ノ二年平均高ニ比スルニ六十年ノ四十八年ニ優ルコト殆トニ倍ニ過キタリ世人皆曰英國輸出ノ俄然増進シタルハ千八百五十三年「グラッドスト」氏カ稅則改正ト其時ヲ同スト是レ誠ニ然リ雖然人アリ若シ此等ノ稅則改正ヲ以テ英國貿易増進ノ一大潤源ナリト為サハ余ハ將ニ指シテ眼孔狹小ノ人ト曰ハントス故ニ余ハ再々第一表ニ溯テ之ヲ說シニ讀者ノ己ニ識得セルカ如ク

表

該表中ニ「ムラドスト」氏稅則改正後六年間  
ニ於テ收稅一年ノ平均高志億千三百零六萬三  
千六百六拾五弗ヨリ増シテ志億千七百七拾九  
萬七千六百八拾五弗ニ至リシヲ示シタリ然ト  
モ前ニ記載セル拾六品ノ課收ニ係ル稅額ヲ見  
ルニ増減變化ノ部割ニ於テ一トシテ其著大ナ  
ルモノヲ見ス此ニ由テ之ヲ觀レハ英國貿易ノ  
俄然増進セシヲ以テ偏ニ之ヲ同氏ガ自由貿易  
主義ナリト唱呼セル稅則改正ニ歸スヘカラサ  
ルヤ明ナリ彼ノ輸入素材ノ課稅ヲ廢シ麵包種  
料ノ課稅ヲ大減シタルカ如キハ其英國製造者  
ニ裨益アル實ニ鮮也ニ非ス是レ自由貿易主義  
ノ德ニ「アラス」シテ即チ有限保護ノ切ナリ何ト

ナレハ若シ此等ヲシテ自由貿易主義ノ切タラ  
シメハ其課稅ヲ廢止セラレタル物品ノ輸出ニ  
於テ大ニ増進ヲ見サル可ラサルノ理ナルモ却  
テ百分ノ十五稅ヲ以テ保護セラレタル絹糸製  
造品ノ輸出ヲ増加シタルコト無稅ナル棉麻毛  
製品ノ遠ク及ハサルモノアルヲ以テナリ附録  
四  
九号ヲ參 而シテ「ムラドスト」氏稅則ノ改  
正ハ偏ニ外國製造品課稅ノ廢止ニ係リ當時該  
物品ノ輸入ハ巨額ニ非ルヲ以テ課收ノ稅額モ  
亦多シトスルニ足ラサレハ此等ノ廢稅ニ於テ  
其英國貿易ニ大影響ヲ生スル能ハサルヤ固ヨ  
リ論ヲ待サルナリ是故ニ「ゴブデ」氏ハ穀例紛  
議ノ際ニ於テ輸入稅ニ就キ之カ説ヲナシテ曰

大 裁 省

諸彦ヨ輸入税ニ関シテ一モ畏懼ノ念ヲ抱ク勿  
 レ今ヤ輸入品ハ甚々些少ナルヲ以テ保護税ノ  
 課税ニ係ルモノ唯貳拾八万四千零貳百弗ニシ  
 テ之ヲ區分スレハ棉製造品ニ係ルモノヲ三千  
 七百封度トシ笹縁ヲ七千六百封度トシ磁器陶  
 器ヲ三千六百封度トシ麻布ヲ志万貳千封度ト  
 シ毛ヲ志万六千七百封度トシ其絹製造品ニ係  
 ルモノヲ貳拾四万零六百封度トスト右ニ論列  
 スル所ヲ以テスレハ英國輸出ノ傾ニ旺盛ニ至  
 リタル本源ハ必之ヲ同氏カ税則改正ノ外ニ索  
 ノサル可カラス乃チ之ヲ税則改正ノ外ニ索  
 ニ彼ノ英國カ輸出隆昌ニ達セシ時ニ於テ米佛  
 ノ邦國モ亦各邊ニ貿易ノ体面ヲ一新シ彼ノ佛

國人如キ其税則頗ル苛刻ニ示ス寬優ナル英國  
 税則ノ比ニ非ルモ貿易忽チ隆盛ヲ致シ我米國  
 ノ如キ固ヨリ保護税ナキニ非ルモ亦復已ニ然  
 リ其實況ハ左ノ比較表中ニ於テ觀ルヘシ  
 四十九号ハ十三号ハ  
 十六号ヲ參觀セヨハ

三國比較

一千八百五十三年輸出	一千八百五十九年輸出	增加ノ割合
四九四六八八九〇五	六五二〇五七三五五	百ニ付キ
二五三四二五〇〇〇	三七一六二八〇〇〇	三二八二
一八九八六九一六二	二七八三三九二〇八〇	四六六四
	四六六二	

近代貿易ノ大隆盛ハ源ヲ二箇ノ功カニ祭セリ  
 其第一ヲ製造増殖ヲ補助スル學術ノ功カトス  
 此功カハ日月ニ駸テ其増大全備ヲ致スモノナ  
 リ其第二ヲ黄金供給ノ大増加トス抑當時學術  
 非常ノ進歩ヲ致シ須要ノ機械術ヲ發明スルモ

ノ學術ノ秘奧ヲ發見スルモ、人接踵輩出、機械上  
ノ改良ハ實ニ無教ニシテ製産ノ方法ハ日ニ新  
工ヲ出シ人民カ消費ニ充ルノ物品ハ積テ丘  
山ヲ成ス、勢貿易通商ノ道路ヲ擴張セサル可ラ  
サルニ至レリ茲ニ千八百四十八年以前一年間  
ノ黄金産出ハ只五千万弗ノ高ナリシモ千八百  
五十三年以降其高尙億五千万弗ニ上レリ「ワ  
ク氏ハ此黄金供給大増加ノ功績ヲ評シテ曰千八  
百五十三年以降黄金供給ノ大増加ハ通商ノ道  
ヲ擴張ニ發見ノ業ヲ獎勵シ製産ノ功ヲ廣大ニ  
シ人ヲシテ望ム可ラサルノ大業ヲ起想セシメ  
以テ地球上ノ富源ヲ開發シタリト右ニ記載セ  
ルニ原由ハ力ノ感動ハ彼此ノ邦國ニ於テ多寡

ノ差異ナキニ非ルモ貿易ヲ營ムノ邦ニシテ未  
タ此感動ヲ享ケサルモノヲラス是レ地球上ニ  
般富饒ノ發源ナリ大英其感動ヲ享ル獨リ多キ  
ハ何ソヤ一ハ資本金ノ饒多ト工藝ノ練熟トニ  
由リ一ハ製産方法ノ其宜キヲ得ルト通商邦國  
ノ夥多トニ原ク此資本金ノ饒多ト工藝ノ練熟製  
産法其宜キヲ得通商邦國夥多ナルカ如キ皆經  
濟上ノ定則ニ於テ黄金ヲ其國ニ聚集スヘキ大  
引カナルヲ以テ大英ハ予ニ此等ノ大引カヲ專  
握シ半地球ノ花玉ニ向テ自國製造ノ品物ヲ送  
輸ニ專ラ黄金ヲ以テ自國ノ金庫ヲ充溢スリ

英國製造品

夫英國ノ製産品タル種類多キ製出ノ盛ナル

大英

他邦ノ及サル遠美其製産品ヤ内國需用ニ羨贏  
 アリテ餘剩殆ト半世及ニ散布シ以テ之カ需要  
 ニ供給スルニ足レリ今英國輸出製造品ノ元價  
 ヲ推算スルニ大約輸入元價ノ貳拾壹倍タリ礦  
 坑ヨリ産出スルモノ一年間ノ總計壹億五千万  
 弗ニシテ附録第百十号溶鐵爐中ニ溶解スル生  
 鐵一年間ノ量ヲ三百万噸トシ其價ハ六千四百  
 万弗ノ巨額トナル其量殆ト他ノ諸邦産出高ヲ  
 合保シタルモノト倅シ而シテ其製産中最モ鉅  
 多ナルモノハ紡織ノ工業ニシテ綿毛、麻、絹、ノ製  
 造品ニ係ルモノ一年間七億五千万弗ヨリ八億  
 五千万弗ノ巨額ニ至リ英國人民ノ富饒ナル政  
 府ノ鞏固ナル他邦ヲ之ニ勝上スル能ハサルモ

ノハ一ニ工業ノ盛大ナルニ之由ナリ故ニ大  
 英全國ノ人民直接又ハ間接ニ其命脈ヲ此工業  
 ニ繫クモノ殆ト全國五分ノ一ニ居ルヲ以テ  
 此ニ製造場審査官カ調製セシ綿毛、毛線、麻  
 絹、ノ五種素材ノ紡織場統計表ヲ左ニ掲ク  
 以テ當時製造場ノ状態ヲ示シ、但シ添  
 飾製造場  
 之ヲ除ク

織業	製造所ノ数	馬力	紡錘ノ数	蒸機ノ数	雇工		合計
					男	女	
綿	二、二一〇	九七、三三二	二、八〇一、〇二一	二、九八八、四七	一、五七一、八六	二、二二〇、二七	三、七九二、一三
毛糸	一、五〇五	二、五九〇、一	一、七八六、九七二	一、四四九、五三	四、五五八、三	三、三三〇、八	七、九〇九、一
亞麻	五二九	一、四九〇、四	一、三二四、五四九	三、六九五、六	三、〇〇二、三	五、七七一、一	八、七七九、四
絹	四一七	一、八三三、二	一、二八八、〇四三	七、六八九	二、三三四、六	五、六八一、一	八、〇二六、二
合計	五、一七	一、六四三、五	三、三三〇、三、五八〇	三、六七二、〇五	二、七三三、三	四、〇九三、六〇	六、八四九、七

允ソ英國ニ於テ布帛製造場ノ多キ實ニ屈指ニ  
 暇アラスト雖モ就中綿製造ハ其最要ナルモノ

ニシテ「ゴ」氏カ著ス英國綿貿易景況録第三  
拾葉ニ記載セル所ヲ看ルニ綿製造ニ使用セル  
資本金ノ高即チ左ノ如シ

機械ノ數貳千貳百拾ニシテ紡錘ノ數貳千  
八百零七万零貳百拾七箇一箇ノ價ヲ貳拾  
三「リ」リ「ン」カ「六」シ「スト」定ノ其合計志億  
六千五百万弗  
織機ノ數貳拾九万八千八百四拾七ニシテ  
一箇ノ價ヲ貳拾四封度下定メ其合計三千  
六百貳拾五万弗  
銀行預金ヲ籠メ不定資本金ノ概算貳億貳  
千五百万弗  
紡織工業ニ使用セル總資本金合計三

億貳千六百萬貳拾五万弗  
製造者カ深晒印花等ノ為ニ使用セル資本  
金概算志億五千万弗  
素材輸入者ノ不定資本金概算三千貳百五  
拾万弗  
船主ノ不定資本金概算千五百万弗  
此合計志億九千七百五拾万弗  
全計五億貳千三百七拾五万弗  
右ニ列記セル綿製造資本金ノ概算八千八百五  
十六年製造場審査官ノ査閱ニ係リ爾來此製造  
工業ハ俄然最大ノ進歩ヲ致シ千八百五十九年  
ニ當リ「ラン」カ「ツ」シ「ヤ」ノ「イ」ニ於テ紡錘ノ數貳千  
八百万織機ノ數三拾万ニ至リ千八百五十六年



大英全國紡錘織機ノ全數ニ均シ英國綿製造品ノ一年間ニ輸出スルモノ其元價貳億四千萬弗ニテ之ヲ分配スル所ノ市場其數五拾七トス乃チ第五表ヲ作り以テ英國綿製造連年ノ實況ヲ會得スルニ便ナラシム

今第五表ヲ觀ヨ表中ニ就キ千八百五十八年及ヒ五十九年ノ兩年ニ於テ英國ノ綿製造ヨリ收得セル一年ノ平均額ヲ算スルニ其高志億九千四百九拾三萬六千六百八拾五弗ノ巨額トナル其中ニ就キ六百萬弗ハ藥種顏料及ヒ他ノ輸入品ノ為ニ差引キ殘額志億八千八百九拾三萬六千六百八拾五弗ハ英國ニ於テ綿製造ニ費セシ資本金及勸勞等ヨリ收得セル純利ナリ又米國

第五表

千八百五十年ヨリ同五十九年ニ至ル各年間英國ニ於テ綿製造ヨリ資本及ヒ勸勞上增加額ノ概算此ノ概算ハ附録百三號ヨリ萃摘セルモノニシテ表中ニ記載セル綿製造ノ元價全計ハ該製造ニ使用セル資本金ノ利子工人ノ傭銀消費セル薪炭藥種顏料ノ價總テ其他ノ費用ヲ含入ス

年	製造綿ノ重量 斤數	製造品價格 (利益共)			綿價格總計 弗	綿元價總計 弗	差額總計 弗
		綿每斤 元價	每斤製造費 及利益合計	每斤價格			
千八百五十年	五八八〇〇〇〇〇	一五二五	二二七一	三八九六	二二九一三五九六〇	八九六八五五〇〇	一三九四四九四六〇
千八百五十一年	六五六九〇〇〇〇	一六三五	二四四一	三六七六	二四一四九六七八〇	八一二七一四一五	一六〇三六九六三五
千八百五十二年	七二〇〇〇〇〇〇	一七五五	二四〇二	三六五七	二五六二八〇九九七〇	八三二〇六一九五	一七三〇七四七七五
千八百五十三年	七六一四〇〇〇〇	一八一〇	二四三九	三六四九	二七七六六五九七五	九二一二九三九五	一七三六五八〇
千八百五十四年	八〇二七〇〇〇〇	一八三七	二四九五	三六三二	二七五四七〇二三五	九二二五五四〇五	一八四二一四八三〇
千八百五十五年	八三九二〇〇〇〇	一九六九	二四九三	三六一一	二七三六八二六〇〇	九八〇九九四四〇	一七五五八三二六〇
千八百五十六年	八五六七〇〇〇〇	二〇九二	二四四〇	三三三二	二八五三七四二六〇	一一〇六四七九九五	一七四七二六二六五
千八百五十七年	八五八〇〇〇〇〇	二一五一	一九九五	三三〇九	三〇〇七七八八五一五	一一二九六二六一四〇	一七七一六三三七五
千八百五十八年	九〇二〇〇〇〇〇	二四五五	一八九二	三三四七	三〇一九三五一七〇	一三一二七四〇〇〇	一七〇六六一一七〇
千八百五十九年	九七六六四三〇〇〇	一四〇九	二二四五	三六五四	三五六八六六〇七〇	一三七六五三三八七〇	二一九二一一二二〇〇

中同年綿花收穫一年平均ノ元價ハ其高尙億八千六百拾四万三千七百九拾貳弗トス其輸出スル元ノ尙億四千六百四拾壹万零七百九拾貳弗其内國ニ於テ消費スルモノ三千九百七拾三万三千弗ニシテ附録第八号及七第百四十四号ヲ參觀セヨ英米兩國ヲ以照スルニ英國綿製造一年間ノ利額ハ大約本國ノ綿花生産一年間元價總額ニ均ク其輸出セシ元價ニ超過スルコト四千貳百五拾貳万五千八百九拾三弗トス然則英國ニ於テ綿製造ノ最要ナルハ論ヲ待サルナリ議員「バズレイ」氏ハ「ラシカツ」シヤノ著名ナル綿製造者ニシテ千八百六十一年九月某日大英貿易共進會ニ於テ綿貿易説ト題セシ一篇ノ文章ヲ誦論ス其略ニ曰我

カ英國ハ綿ノ製造及ヒ輸入ノ為ニ専ラ資本ヲ費シ勤勞ヲ致シ當時往々外國競市者ノ起テ利ヲ逐フアルモ五十年間ニ其收得セル利額ハ五拾億弗ニ超過スト是レ殆ト米國全洲不動産估價ノ總額ニ齊シ又「マカロツ」氏ハ英國製造非常ノ隆盛ニ至リ就中綿製造巨大ノ進歩ヲ致セル實況ニ付キ巧ニ之ヲ説ク為シテ曰

我大英ノ綿製造遠然トシテ廣大旺盛ニ達シタルハ古今未曾有ノ奇変ニシテ工業史ヲ編スルニ當リ其史中記載ノ一大要地ヲ占ル素ヨリ疑ヲ容レカルナリ英國ハ從來毛類ニ於テ天賜ノ自在ナルアリ且勞力ヲ毛製造品ニ偏用シタルヲ以テ此製造ニ於テ其精巧ヲ極

ル既ニ久シ然トモ其初々起想スルニ當リ之  
カ妨碍ヲ為スモノ許多ニシテ創業ノ至艱至  
苦ナル實ニ名状ス可カラサルアリ綿ハ我海  
岸ヲ隔ル教千里外ノ異域ニ産出シ當時印度  
及ヒ支那人民ハ大英ニ先テ已ニ精巧ヲ綿花  
ノ紡織ニ致シ其紡成セシ綿糸ノ極テ細織ナ  
ルモノハ之ヲ遊絲ニ比スルニ遊絲モ猶細微  
ト為スニ足ラサルヲ覺フ故ニ綿製造ノ業ニ  
至テハ我邦人民ノ能ク相頓頽スルヲ得ル所  
ニアラス是レ我邦人當時本業創始ノ至難々  
ル所以ナリ然トモ英智俊才接踵輩出シ「ハ  
グリ」ト「ブス」ノ如キ「アイ」ト「ク」ノ如キ「ロ  
ン」ト「プ」ト「カ」ト「ト」ト「イ」ト「諸氏ノ如キ新支業ヲ

發建シ新工夫ヲ發明シテ製造上幾多ノ困難  
ヲ芟除シ以テ我邦製造場ニ於テ自國生産ノ  
綿花ヲ販賣セル支那印度人民ヲシテ綿製品  
製造上ニ於テ遂ニ我ト競市スル能ハワラシ  
ムルニ至レリ元來我邦ノ綿製造ハ多年ノ工  
夫ヲ費シテ真熾盛ヲ致セシニ非ズ偏ニ數年  
間ニ於テ俄然此ニ到達シタルモノニシテ之  
ヲ機械ノ功カニ頼ルモノト謂ハサルヲ得ス  
ア紡績機ハ千七百八十三年ニ當リ而シテ  
スト綿花ハ千七百八十三年ニ於テ而シテ  
産入シ其時「ヤ」ハ「十」ト「五」ト「年」ト  
績込ミ「モ」ノ「一」ト「依」ト「ヨ」ト「テ」ト  
ノ「号」ニ「積」込ミ「子」ニ「三」ト「依」ト「レ」ト  
ラ「ス」ト「モ」ノ「我邦ノ綿製造創業未タ百年ナ

ラサルニ方今英國産業最大其右ニ出ルナ  
ク邦内日ニ月ニ富鉅万ヲ累子五人ハ時々刻  
々ニ教幾千ヲ増シ我國光ヲシテ海外ニ赫々  
タラシムルモノハ悉ク此工業ニ根生スルニ  
非ルハナク勝ヲ狂乱敵スヘカラサルノ佛國  
ニ争ヒ國ヲ鉅万費ラレサル負債ノ間ニ柱支  
スルヲ得タルモノハ綿製造工業ノ幸ニ我國  
ラシテ富強最高ノ地位ニ登ラシメタルノ故  
ニ非ルハナシ

由此觀之綿製造ノ自國富強ノ根柢タルヲ以テ  
英國當路ノ人ハ常ニ刮目銳意汲々勸誘輔導シ  
テ急ラズ厚子其レ真ニ有以也夫

英國與他邦關係ノ狀態

世人刮目シテ大英邦土ノ面積ヲ看ヨ千八百六  
十一年ノ檢閲ニ係ル人口ニ從ヒ邦内ノ面積ヲ  
割附スルニ各人口ニ當ルモノ僅ニ貳五トクニ  
ト四分ノ三ニ過キス一五トクニ八歩餘我且國中耕  
耘ニ適セリルノ地頗ル多ク人口ノ多キ地産ノ  
少キ以テ相支フルニ足ラス故ニ二十五年以降  
英國各所人民ノ天涯地方ニ轉移スルモノ其麗  
千万ナラス是レ國內土地ノ狭小ナル過多ノ人  
口ヲ支養スル能サルノ明證ト謂フヘシ政府ハ  
專ラ人民ヲ獎勵シテ他邦ニ轉居セシムト雖モ  
人口ハ日ニ其數ヲ増加シ尺地寸壤モ耕スニ足  
ルモノハ人民汲々之ヲ遺スナキモ其生産些少  
ニシテ之ヲ一箇ノ麵包ヲ以テ千百ノ饑餓ヲ拯

大  
省

フニ譬フ是ヲ以テ英國ハ日用ノ食品悉ク給  
 他邦ニ仰タリル可カラス故ニ千八百四十四年  
 「ブルリエール」氏カ穀例廢止ヲ主唱シタル論  
 ニ曰我邦人民カ命脈ヲ託セル日用穀類ノ供給  
 ハ常ニ之ヲ他邦ニ仰クコト已ニ二十年ナリト  
 又一年ヲ過テ則切ニ穀例廢止ヲ政府ニ論セシ  
 文ニ曰我大英國中ニ生レタル民庶ハ力ヲ製造  
 上ニ盡サハル可カラサルノ秋ナリ耕耘ノ如キ  
 ハ則顧ルニ足ラス惟製造ノ業以テ我命ヲ繫ク  
 ヘレト穀例紛議中「ゴブデン」氏ハ穀例ノ無切ヲ  
 説テ曰政府ハ假令穀例ヲ設テ人民ノ生計ヲ立  
 ント欲スルノ目的ナルモ不熟ノ凶人ニ向テ其  
 目的ヲ達スル能ハス愛蘭土五百方ノ人民ハ一

片ノ麵包ヲモ嘗ムルヲ得ス其四分ノ三ハ菜蔬  
 ヲ仰テ其生ヲ保テスコットランド山部及ヒ英  
 國內地貧民ノ命ヲ木皮草實ニ託スルモノ復々  
 尠シトセテ蓄時英國中ノ貧民一百万ニ起ル  
 貧民救助ノ金額ハ三  
 千五百萬弗ニ下ラス  
 今ヤ第六表ヲ作り物品増減ノ跡人口増殖ノ状  
 ヲ示ントス即チ左ノ如シ  
 表ハ千八百二十一年ヨリ千八百六十年ニ至  
 ル四十年間ニ係ルモノニシテ此四十年ヲ八分  
 ニ各五年間ニ英國ニ於テ消費セル麵包用穀類  
 一年間平均ノ元價ヲ示シ起頭二十一年ニ在テ  
 ハ惟貳百五十萬弗ナリシモ終尾六十年ニ至テ  
 ハ其額非常ニ増加シテ終ニ是億千零五拾萬弗

大  
 表  
 省

第六表

此表一千八百二十一年以降各五年間ニ於テ人口、英國輸出元價、内國消費麵包種料輸入元價、各増加ヲ比較シ且輸出ニ對シ該種料輸入ノ割合ヲ示スモノナリ

每五年間	英國輸出一年間平均元價		内國消費ニ供給タル麵包種料輸入一年間平均元價		輸入ノ割合	各十年間ノ調査ニ係ル英國人口
	輸出元價	輸入元價	輸出元價	輸入元價		
一千八百二十一年	一四七六一六四一三	二五〇〇〇〇〇	一六九	一千八百二十一年	二二〇、四七〇	
一千八百二十六年	一七九六四四〇三五	二〇〇〇〇〇〇	一一一	一千八百二十六年	二四三、三三九	
一千八百三十一年	二〇二、三〇三、七七五	五、〇〇〇、〇〇〇	二四七	一千八百三十一年	二六九、八八九〇	
一千八百三十六年	二五〇、〇六四、九七一	二六、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇	一千八百三十六年	二九〇、四九二、九七	
一千八百四十一年	二六九、九四九、七二九	二五、〇〇〇、〇〇〇	九二六	一千八百四十一年	二九〇、四九二、九七	
一千八百四十六年	三〇〇、四三三、九〇七	八五、〇〇〇、〇〇〇	二七九	一千八百四十六年	二九〇、四九二、九七	
一千八百五十一年	四四四、三〇四、六八一	八五、〇〇〇、〇〇〇	一九三	一千八百五十一年	二九〇、四九二、九七	
一千八百五十六年	六二〇、七五六、二五四	一一、〇五〇、〇〇〇	一七八〇	一千八百五十六年	二九〇、四九二、九七	

ニ上リタルヲ見ル此増額頗ル許多ニシテ驚ク  
 へキカ如シト雖モ猶漸々增長ノ勢ヲ著シ千八百六十一年ノ輸入ニ於テハ其六十年ニ優ル必

×愛蘭上ノ凶凶此時限中ニ在

第七表

英國ノ他國ニ依仗セル状態ヲ示シカ為ニ類別シタル千八百五十八年及千八百五十九年ニ係ル大英一年間平均輸入品表中ニ記シタル各金額ハ再輸出ノ差引キ内國消費トシテ残留スル者ナリ

内國消費物品		内國消費物品ノ續	
食料品	九四九、二一三、七〇	華製造品	二七三、四六九〇
麵粉 (諸種ノ穀物粉及粗粉)	二二二、〇七二、八〇	懸時計及ノ懐中時計	一八〇、一三九〇
食品 (乳油、乾酪、豚肉、魚、油、及糖、肉、油、及糖、肉)	一〇、四四四、五二〇	西圖	八八、四四四〇
生動物 (羊、豚、及ノ有角畜)	七四、八四三、九〇	硝子ノ玉	八一、九六三〇
米	三三〇、二〇三、五	綠色硝子瓶ヲ除クノ他各種硝子	七五、〇二五〇
卵	一六〇、〇七〇	漆器	七二、九一四、五
馬鈴薯	一〇、九七一、四一五	油 (含器ノ)	五三、三五四〇
魚	一〇、七七八、七三〇	亞麻ノ製品	四九、九四四、五
西穀米	六、七三二、八八五	銅及ノ真鍮製造品	九八、三三三
魚膠	三〇、八二四、五	他物品	五、九七九、一四四
家禽、及ノ野獸	三〇、一四四、五〇	合計	三、七七一、四七七
葱	二八、〇六〇、五	内國消費物品價格合計	三、七九〇、七〇、四六二
アルロールト	二七、三〇五	製造用物品	一、四一七、三三六〇

大表

粗製砂糖	五八六三六五	素材	一四二二二六五
茶	二六〇五九一〇	綿	三六九七三六五
珈琲	五〇八三一二〇	毛	三〇一三二六七〇
精製砂糖	四七二一八五	絹	一六一七三二〇
糖蜜	一四七一九一〇	亞麻	一四七五三三〇
香料	七三八九六〇	獸脂	一四七五三三〇
椰子樹椰子樹皮及椰子葉皮及椰子葉皮	六五六八四五	亞麻子及亞麻仁	一四七五三三〇
椰子樹椰子樹皮及椰子葉皮及椰子葉皮	四六九二六五	麻(ワール)及ヒギト	一四七五三三〇
チゴリ	一五二七九五	銅(鐵及ヒ分折シタル純物)	一〇一七九七〇
糖汁及ヒ舍利別	一〇四〇二〇	藍根及ヒガラシ(藍根汁)	九七五九一七二
忽布	九四七五九八七五	藍根及ヒ毛皮類	八七四四七五
酒	八一六五八〇	硝石	五二四七四七〇
煙草(製作ノエヲ経サルモノ)	七八七四八七五	毛(山羊)	四二〇六七〇
酒精	六〇九七七〇〇	硫黄	六九四〇二四〇
煙草(製作ノエヲ経タルモノ)(喫烟ト共)	五九九〇九〇	藍靛	六三三七六二五
麥酒及淡麥酒	一〇六〇一〇	ワロニヤ	一八四一〇五〇
食料品全價格	二二七〇四二五五	漆木	一六六六一一〇
雜品	二六〇四三三九〇	粗毛	一五二九二四〇
各種木材	四四三三八九六〇	硝子木	一四六〇六六五
鳥糞	一〇九一八二七五	コチニール	一一一八九〇
鯨油、鯨頭油及ヒ鯨脂	四八一五九一〇	カ、タ、パ、ル、ナ、ヤ(樹膠ノ一種)	九九四三三五
油糟	三四八三三九〇	カ、タ、パ、ル、ナ、ヤ(樹膠ノ一種)	九一三三三五
海軍用(溼青、釜、火、樹、脂、及ヒ、ド、ル、マ、ン、タ)		柔皮用並ニ漆用樹皮	七六八五二五
			七一〇〇五〇
			六七二五三五

骨	二八六一〇五〇	毛(馬)	五三九八八〇
種子(苜蓿、草、粟、芥子、罌粟及ヒ莠)	二二一九九一五	他物品	一九七五三五一〇
海綿	二二〇〇四九五	合計	二二九六〇〇七〇二
鴉片	一〇〇〇四六五	一部分製作ノエヲ経タル物品	一五五五〇五九〇
紅花	五六六四四〇	油(鯨油、機械油ヲ除ク)	三七八八一一五
馬及ヒ騾	五四一〇一〇	銅(鏡、塊、竿、及古銅)	一八九三九〇五
甘草液及ヒ漿	四一八八一〇	鉛(塊及ヒ葉)	一七二七六一〇
幾那	三一六六三五	皮(柔シタル)	五七三九〇〇
大黃	一四二六五	純酒精石	七九一三九〇
他物品	一三〇四一八二五	各種帽子製造用蓆、藤等ノ組紐	五八三四七五
	八六九一八三九五	コワール、繩、線、及ヒ股(綱ノ)	四六〇〇六四六
製造品		他物品	二九六〇五六一
絹製造品	一〇七四九八八〇	合計	四九九二〇六三三
毛全	六三七五三八〇	製造用物品價格合計	七三六二六六九五
綿全	二七六三、四一〇	輸入價格合計	

若干ナルヘキヲ信ス。今眼ヲ轉シテ該表中輸出ノ狀勢ヲ見ヨ輸入ノ増加頗ル鉅大ナルモ之ヲ輸出ニ比照スレハ其及サル實ニ遠シ麵包ハ英國ノ常ニ他國ニ依仗セラル可カラサルノ一要

品ニシテ千八百五十八年及七十九年ノ兩年  
ニ係ル内國消費輸入食品ノ元價ヲ第七表ニ見  
ルニ其高貳億六千零四拾三万七千五百九拾弗  
ニシテ同兩年中麵包用穀類一年間平均ノ輸入  
元價ヲ以テ之ヲ千八百六十年ニ終ハル五年間  
ニ比較スルニ該兩年ノ此五年間ニ劣ル千五百  
五拾七万八千六百三拾弗ナリ第六表ヲ見ヨ且  
同兩年中ニ於テ一年間英國輸入雜品ノ高八千  
六百九拾壹万八千三百九拾五弗ニシテ其製造  
品ニ係ルモノヲ三千百七拾壹万四千四百七拾  
七弗トス而シテ今第七表ヲ見ルニ該兩年中素  
材及ヒ一部分製造ノエヲ經タル物品ニ係ルモ  
ノ其元價三億五千九百貳拾万零六千三百三拾

三弗ニ奉テ其若干小部分ハ内國用ノ製品トナ  
リ他ノ部分ハ總テ輸出製品トナル其精密ナル  
割合ハ之ヲ索ルニ難シト雖モ其概算ヲ去ヘハ  
四分ノ三公輸出製品トナリ其元價ヲ貳億六千  
九百四拾万零四千七百五拾弗トシ其四分ノ一  
ヲ内國製品トシ其元價八千九百八拾万零千五  
百八拾三弗トス此ニ内國消費輸入品ノ元價ハ  
三億七千九百零七万零四百六拾貳弗ニシテ之  
ニ加ルニ此八千九百八拾万零千五百八拾三弗  
ヲ以スルトキハ其合計四億六千八百八拾七万  
貳千零四拾五弗トナル是レ英國人民カ其生活  
上ニ於テ他邦ニ依仗セル一年間ノ總額ナリ讀  
者ヨ英國ハ若何シテ斯ノ如キ鉅大ナル輸入額



ラ拂ヒ得ルト思想スルカ從來英國ハ全ク生産  
 ニ乏クシテ一ノ輸入品ニ抗敵スヘキモノナキ  
 ハ世人ノ普ク知ル所ナリ而シテ第八表ニ揭示  
 セルカ如ク純然タル内國產ト稱スヘキ者ハ唯  
 拾五六品ニ過サレトモ夫ノ千八百五十八年及  
 七十九年ノ兩年ニ於テ此等ノ品物ニ係ル平  
 均ノ元價ヲ索ルニ其高志億五千三百六拾萬  
 千七百八拾五萬ナリ此元價額ヲ以テ彼ノ英國  
 人民カ其生活上ニ於テ他邦ニ依仗セル總額ヨ  
 リ引キ去ルトキハ其殘額三億千五百萬拾六萬  
 零貳百六拾萬トナル是レ即チ英國人民カ其生  
 活上ニ於テ他邦ニ依仗セル總額ナリ讀者ヨ猶  
 英國ニ於テ此巨額ヲ何如ノ方法ニ由テ以テ拂

第八表

千八百五十八年及千八百五十九年ニ當リ内地產物ニ係ル英國輸出一年間平均  
 物品  
 一、千八百五十八年及千八百五十九年ノ平均價額  
 幣

鐵及鋼鉄 (既製及未製、鉄器、利器、並ニ器械共)	九四八二、五六〇
石炭	一、九七八、八六二〇
麥酒及啤酒	九、九二〇、三二〇
錫 (既製及未製) 輸入品ヲ除ク	六、九六七、七九五
食料	六、四三三、七一〇
磁器及陶器	六、一六八、五二五
毛	三、八五八、三二五
魚	二、四七三、八九〇
麵包粉類 (各種穀類、粉、及粗粉)	一、九七三、七一〇
鹽	一、三三〇、三六〇
主動物類	九、七三〇、九五
獸皮類	七、四二九、八〇
雜品	二、一三四、四四五
合計	一、五三六、一七、七八五

得ヘシト思想スルカ英國ハ之ヲ償フニ貿易  
 ノ利ヲ以テス大英ハ常ニ地球上貿易市場ノ中

央ニ立テ鉅額ノ資本金ヲ運轉活用シ外國産及  
 比領地産ノ品物ヲ以テ或ハ之ヲ輸入シ或ハ之  
 ヲ再輸出シテ其華利ヲ得ルヤ實ニ巨大ナルハ  
 斯ノ如キ鉅額ヲ償フハ英國ノ憂慮スル所ニア  
 ラス千八百五十八年及千八百五十九年ニ當  
 リ英國ノ外國産及比領地産ニ係ル品物ヲ再輸  
 出セルモ其一年間平均額壹億貳千百拾三萬  
 八千六百七拾貳弗ヲ致シ其他外國ヨリ輸入セ  
 ル素材ニ向テ資金ヲ投シ勤勞ヲ費シ以テ之ヲ  
 製造品ニ化成一其利ヲ占ル實ニ驚ノヘキノ鉅  
 額ナリ今讀者ヲシテ英國製造上及比貿易上ノ  
 實況ヲ瞭知セシメシメ為ニ再々輸出入ノ算數ヲ  
 示ス

輸入

内國消費食品	貳億六千零四拾三萬七千五百九拾弗
全製造品	三千百七拾萬四千四百七拾七弗
全雜品	八千六百九拾萬八千三百九拾五弗
内國貿易製造品用素材	八千九百八拾萬零千五百八拾三弗
内國消費合計	四億六千八百八拾七萬貳千零四拾五弗
輸出製造品素材	貳億六千九百四拾萬零四千七百五拾弗
再輸出外國産及比領地産物品	壹億貳千百拾三萬八千六百七拾貳弗
製造品及輸出合計	三億九千零五拾四萬三千四百貳拾貳弗
全計	八億五千九百四拾萬五千四百六拾七弗
輸出	
第八表ニ掲記セル内國産	壹億五千三百六拾萬千七百八拾五弗
一部分製作ノエヲ加ヘタル外國素材	貳億六千九百四拾萬零四千七百五拾弗

外國及領地ノ產物

壹億貳千百拾三萬八千六百七拾貳弗

再輸出合計

三億九千零五百四拾三萬三千四百貳拾貳弗

外國產素材ニ用ナル勤勞及資本金

壹億九千四百五拾三萬四千七百七拾八弗

輸入超過

壹億貳千零七拾貳萬六千零八拾貳弗

勤勞資本金、利益合計

三億千五百貳拾六萬零貳百六拾弗

輸出全計 輸入超過共

八億五千九百四拾壹萬五千四百六拾七弗

此輸出入計算中ニハ唯消費物品ノミヲ載

テ金銀貨及々金銀貨地金ヲ顯サス十八百

五十八及々五十九年ノ兩年ニ於テ金銀貨

及々金銀貨地金ノ一年間平均ノ輸入高ヲ

見ルニ壹億六千六百四拾萬零八千二百六

拾五弗其輸出高ハ僅ニ壹億三千八百貳拾

九萬四千貳百弗ニシテ輸入ノ超過ヲ

貳千八百拾壹萬四千六百六拾五弗トス之ニ

加ルニ壹億貳千零七拾貳萬六千零八拾貳

弗ヲ以スルトキハ壹億四千八百八拾四萬

零貳百四拾七弗トナル是レ輸入超過ノ合

計ナリ

右ニ掲記セル輸出入比較ヲ觀ルニ千八百五十

八年及々五十九年ニ係ルモノニシテ之ヲ通覽

スルトキハ此英國輸入ノ輸出ニ超過スルコト

歴然タリ

千八百六十年ニ終ル七年間ニ於テ金銀貨

及々金銀貨地金ヲ除キ英國輸入ノ輸出ニ

超過スルコト合計拾壹億五千八百四拾萬

零九千三百七拾五弗ニ金銀貨及々金銀貨

地金ヲ加レハ更ニ此超過額ヲ増加ス

附録第七号

佛蘭西ニ於テハ千八百九十四年ニ發ル七

年間ニ輸出ノ輸入ニ超過スルモノ四億零

貳百万弗(金銀貨及ニ金銀貨地金ヲ除ク)

附録第八十三号及ニ

八十六号ヲ參觀セヨ

采國ニ於テハ合衆聯邦政府創立ノ始ヨリ

之ヲ算スルニ金銀貨及ニ金銀貨地金ノ籠

ノ輸入ノ輸出ニ超過スルコト七億零々四

拾貳万零貳百四拾五弗然トモ千八百六十

年ニ終ル七年間ニ付キ之ヲ算スルニ輸出

ノ輸入ニ超過スル九千百貳拾貳万三千三

百貳拾九弗ノ多キヲ致セリ

附録第十一号

ヲ參觀セヨ

此ニ金銀貨及ニ金銀貨地金ヲ除キ該兩年官ノ

報告ニ係ル輸入總計一年間平均額ヲ觀ルニ具

高八億五千九百四拾壹万五千四百六拾七弗其

輸出ニ係ルモノ七億三千八百六拾八万九千三

百八拾五弗ニシテ輸入超過ノ額ヲ壹億貳千零

七拾貳万六千零八拾貳弗トス



